



プレスリリース

2011年4月5日

アジア・パルプ・アンド・ペーパー、 2020年ビジョンでカーボン・コンサベーションと提携

持続可能な紙パルプ生産の世界的リーダーへ向けたロードマップ

2011年4月5日 ジャカルタ – アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（APP）は本日、インドネシアにおける事業での持続可能性の原則、目標そしてプログラム実行へのロードマップとなる2020年ビジョンを作成するために、環境と持続可能性のコンサルティング会社であるカーボン・コンサベーションとの提携を拡大することを発表しました。

2020年ビジョンは、APPが持続可能性プログラムとその実践において直接的および間接的な影響力を持つ3つの領域での業務を評価するものです。これらの領域は、APPの事業活動及びサプライチェーン内での管理と影響力に基づく範囲によって構成されています。2020年ビジョンのロードマップは、インドネシアの紙パルプ産業、そして林業に不可欠な重要な問題を広く網羅し、APPが持続可能な紙パルプ生産の世界的リーダーになるという目的を達成するための方向性を明示します。

2020年ビジョンの第1の領域は、よりきれいな紙パルプ製造工程を作ることに焦点を当てます。これは、APPの製造過程における大気、水、土壌などへの影響に対処するためのもので、ほかにもインドネシア政府の温室効果ガス排出削減目標や、浄水と水の保全対策などの問題に対するAPPの取り組みを含みます。第2の領域は、APPの製造業務だけでなく、APPが専属的な供給業者やパートナーに直接影響を与えるサプライチェーンについてです。このエリアは、持続可能な森林管理、土地転換、泥炭管理、国内および国際的な認証スキーム、生物多様性や野生生物の保護、そしてエネルギー供給に関連する目標とプログラムを対象としています。第3の領域はサプライチェーンをさらに拡大し、APPがその持続可能性の実践において間接的な影響力を持っている非独占的サプライヤーにまで及びます。これらの各領域は、APPとその供給業者の活動地域の人々や従業員の経済的、社会的、人権的なニーズに対する影響を考慮し、取り入れています。

APPの持続可能性担当役員であるアイダ・グリーンベリーは次のように述べています。

「紙パルプはすでに、多くの環境的、経済的、社会的問題に影響される、非常に複雑な産業です。その課題は、気候変動や野生の絶滅危惧生物の保護から乳児死亡率を扱うプログラムまで多岐にわたり、それぞれ相互に関連し合っています。さらに、APPグループの規模や、インドネシアのように急速に工業化し、変化しつつある国でこのような課題に取り組むという側面も考慮すると、明確に定義されたロードマップを持つことが何故これほど重要であるかは明らかです」

カーボン・コンサベーションの共同設立者および CEO である Dorjee Sun 氏は、同団体が APP の事業を評価することに加え、世界中の企業の中から APP プログラムの原型や基準を作る上で参考となるであろう最高の事例を見出して行くと言いました。また、カーボン・コンサベーションは、第三者の専門家とも協力し、ロードマップの要素の検証をはじめ、将来的には助言及び APP と提携してプログラムを実施して行く可能性もあります。

Sun 氏は次のように述べています。「紙パルプ業界が直面している持続可能性の課題はあまりにも多様で奥深く、どのような個人や組織もその専門家であるということは不可能です。炭素隔離や水管理の世界的リーダーも、保全や地域開発において同レベルの経験を持っているということはまずないでしょう。このような複雑な組織の側面をすべて網羅し、持続可能性の世界的リーダーとなる道筋を真に提示するためには、プロセスの各段階で信頼できる専門家と連携していくことが必要となるのです。」

APP はカンパル炭素貯蔵保護地区の開発における経験に基づいて、2020 年ビジョンのパートナーとしてのカーボン・コンサベーションを選びました。スマトラのリアウ州にある 1 万 5000 ヘクタールの地域に位置するカンパル炭素貯蔵保護地区は、世界で初めて民間が出資し、パルプ材植林用に割り当てられている土地を炭素貯蔵保護地区へと再割り当てするプロジェクトとして開発されています。

「カーボン・コンサベーションは、APP がインドネシアで直面している社会的、経済的な特有の課題の中で、持続可能なプログラムを開発する際に維持しなければならないデリケートなバランスを理解しています。同時に、同団体は世界中のお客様やステークホルダーの視点や要望を理解しているため、多くの取引先がその最高水準の持続可能な事業経営とコミットメントに対し敬意を払っています」とグリーンベリーは語っています。

Sun 氏は次のように語っています。「過去半年間パートナーとして APP 内で作業を行い、過去 6 年間行われてきた持続可能性プログラムの軌跡に対して直接的な洞察を得ることが出来ました。また、我々は現在行われて積極的かつ野心的な研究開発プログラムの深さを目にする機会を得ました。APP は、実行されているこれら複数のプログラムおよび活動を一つのビジョンに統合し、明確な実行への道筋を立てるといった難問に挑戦しています。我々は、工場、パルプ材コンセッション、そして周辺地域社会において APP の持続可能性プログラムの個々の側面が切れ目なく統合され、組織全体で累積的なプラス影響を最大化できるように手助けします。」

ここ数ヶ月の間に APP は 2020 年ビジョンのロードマップに織り込まれるいくつかの具体的な目標や開発の取り組みを発表しました。APP は持続可能な森林管理のための 3 つの重要な柱として以下を掲げています。

- 1) 2015 年末までに、パルプ材供給の 100% を持続可能な植林源から原料調達を行う。
- 2) 2015 年末までに、APP のパルプ材供給業者はインドネシア政府の森林管理 (SFM) 認証を取得する。
- 3) 2020 年末までに、全ての APP の専属パルプ材供給会社は、より包括的で任意に基づく LEI (インドネシア エコラベリング協会) SFM 認証を取得する。

また、APP は先日、“途上国の森林減少・劣化からの温室効果ガス排出削減 (REDD)” に対するインドネシアの取り組みの一環として、新たな森林と泥炭地に対するライセンスの発行停止期間中の開発計画を発表しました。今後 2 年間で予定されているプログラムは以下の通りです。

- すべての土壌タイプにおける温室効果ガス排出量と植林地開発の影響に関する意欲的な独立した研究
- 国連による CEO ウォーター・マンデートの方針に従い、インドネシアおよび中国における全体的なウォーター・フットプリントを策定するために Nalco 社と提携
- 貴重な野生生物の回廊の設置を含む主要保護地域の強化
- スマトラトラ、ジャワサイ、オランウータンを含む主要なインドネシアの絶滅危惧種の保護に関する調査、および試験的プログラムの実施
- リアウ州ギアム・シアク・ケチル生物圏保護区でバイオ村を建設する試験的プログラムの実施
- 世界初の REDD+のパルプ材植林地プロジェクトであるカンパル炭素貯蔵保護地区の検証可能なカーボン保全モデルの開発
- ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インドネシアと共に中部ジャワの極貧地域に、環境に優しい住宅を建設
- 2020 年ビジョンを達成するための合法性、加工・流通過程の管理、そして持続可能な森林認証管理プログラムの拡大推進
- CDM プログラムの拡大
- APP とその原料供給会社は、植林計画の一環として、毎日 100 万本の苗木を植林

「APP は組織のあらゆる側面において、世界基準の持続可能性の原則を適用するために努力していることを大きな誇りに感じています。しかし同時に、この分野は常に研究や新技術の開発を通じて進化していることも認識しています。持続可能な紙パルプ生産で真の世界的リーダーとなるためには、ビジネスのあらゆる面での改善を日々模索し続ける必要があります。2020 年ビジョンは、私たちが持続可能性プログラムの継続的な改善を行っていくためのロードマップであり、正しい道からそれない指針となることでしょう」とグリーンベリーは語っています。

++

APPについて

APPは、インダ・キアット紙パルプ会社、ピンド・デリ紙パルプ会社、チウィ・キミア製紙会社、ロンター・パピルス紙パルプ会社、エカマス・フォルトウナ、ユニヴィーナスなど、インドネシアにある多くの工場で生産されている紙製品の総合ブランドです。インドネシアに本拠を置くAPPは、120ヶ国以上の国々で製品を販売しています。APPの生産設備の大部分はLEIとPEFCによるCoC（加工・流通過程）認証を取得しています。

カーボン・コンサーベーションについて

カーボン・コンサーベーションは、シンガポールに拠点を置く先駆者的なアジア系オーストラリア企業で、森林破壊の炭素クレジットにおける世界的リーダーです。カーボン・コンサーベーションは森林を中心としたカーボンオフセット商業化の先駆者として、当社のプロジェクトにおける関係者に多大の利益をもたらすなど、多くの成功を収めています。カーボン・コンサーベーションのカーボンファイナンスプロジェクトは注目度が高く、ウォールストリートジャーナル、フォーチュン誌といった数多くのメディアで取り上げられています。これらの成果の一部としては、2008年のカーボン・ファイナンス・ディール賞を獲ったメリルリンチとのカーボン保護契約であるアチェ・ウル・マセン プロジェクトが含まれています。また、CEOであるDorjee Sunは、2009年のTIME誌の「環境分野のヒーロー」に選ばれ、また、映画館や世界各地のテレビで放映されたナショナルジオグラフィック社によるドキュメンタリー番組で、ヒュー・ジャックマンがナレーションを務めた「バーニング・シーズン」でも紹介されました。

本件に関するお問い合わせ先：

カーボン・コンサベーション サステナビリティ・エグゼクティブ

Tashi Dorjee

E-mail: tashi.dorjee@carbonconservation.com

電話: +65 8141 6521

APP インドネシア ステークホルダー関係、サステナビリティ及びステークホルダー契約担当

Stephan Irmea Sinisuka

E-mail: Stephan_I_Sinisuka@app.co.id

電話: +62-21-392-9266

Fax: +62-21-316-2617

携帯電話: +62-81-510-541-547

APP アメリカ サステナビリティ及びパブリック・アウトリーチマネージャー

Ian Lifshitz

E-mail: ian@appcanada.com

電話: 905-450-2100 ext. 297

携帯電話: 1-416-824-9429